

第4学年 音楽科「くり返しや変化などを使って楽曲に合ったリズム伴奏を作って演奏しよう」

本單元における学習者用端末の利活用



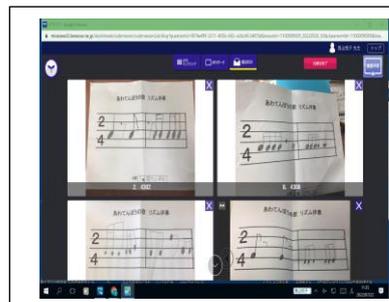
○手だて

- ・色々な音符や休符の長さ, リズム記譜に慣れる→**基礎的, 基本的知識の習得(主体的深い学び)**
- ・色々なリズムの組み合わせ(音楽のつくり)を考え, 楽曲に合う4/2拍子のリズム伴奏(譜)を作る。

(個別に教師が確認する)→**個別最適な学び**

- ・自作のリズム伴奏を拍子木の拍の流れにのって, リズム叩きをする。
- ・自作のリズム伴奏譜をオクリンクに提出し, 全児童と共有する。
- ・自作のリズムをつなぎ(4人1組), 合奏に合わせてタンバリンで演奏発表する。→**協働的な学び**

○使用したアプリやコンテンツ



本時の展開

【ねらい: 作ったリズム伴奏を共有し, 演奏発表する。】

	分	主な学習活動
導入	5	1 いろいろなリズム叩きを拍の流れにのって叩く(リズムカードの提示)
展開	35	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">                     作ったリズム伴奏を演奏発表しよう                 </div> 2 「あわてんぼうの歌」の旋律に合わせて, 自作の伴奏譜のリズム読み, リズム叩きの練習をする。→ <b>個別最適な学び</b> →教師のピアノの音に合わせて練習する 3 4人1組で前に出て発表する(「あわてんぼうの歌」の合奏に合わせて演奏) →合奏やリズム発表は順番に演奏する。 →発表中は他の児童はオクリンクで発表者のリズム譜を共有(A)→ <b>協働的な学び</b> →発表した児童の中から発展的なリズム譜を選び, 全児童で共有し, 確認仕合ってリズムのレパトリーを増やしていく。
まとめ	5	4 リズムつくり学習の振り返りをする。 →オクリンクの質問に各自で色別に答えて振り返る(B) <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     青:理解できた                      黄:だいたい理解した                      赤:よくわからない                 </div> </div>

<学習者用端末の利活用>  
 方法 A: オクリンク→比較機能  
 方法 B: オクリンク→色別機能

成果と課題

- ・学習者用端末活用方法 A の比較機能を使って, 4人分のリズム譜を拡大して視覚化共有したことで, 明確にリズムを読み取ることができ, 協働的な学びに有効である。
- ・学習の振り返りで, 学習者用端末活用方法 B 色別機能を利用したことで, 教師が瞬時に児童の理解度を掴めた。